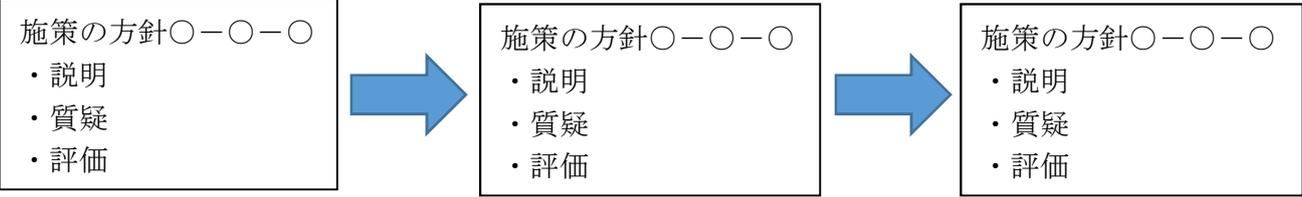


海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の進め方について

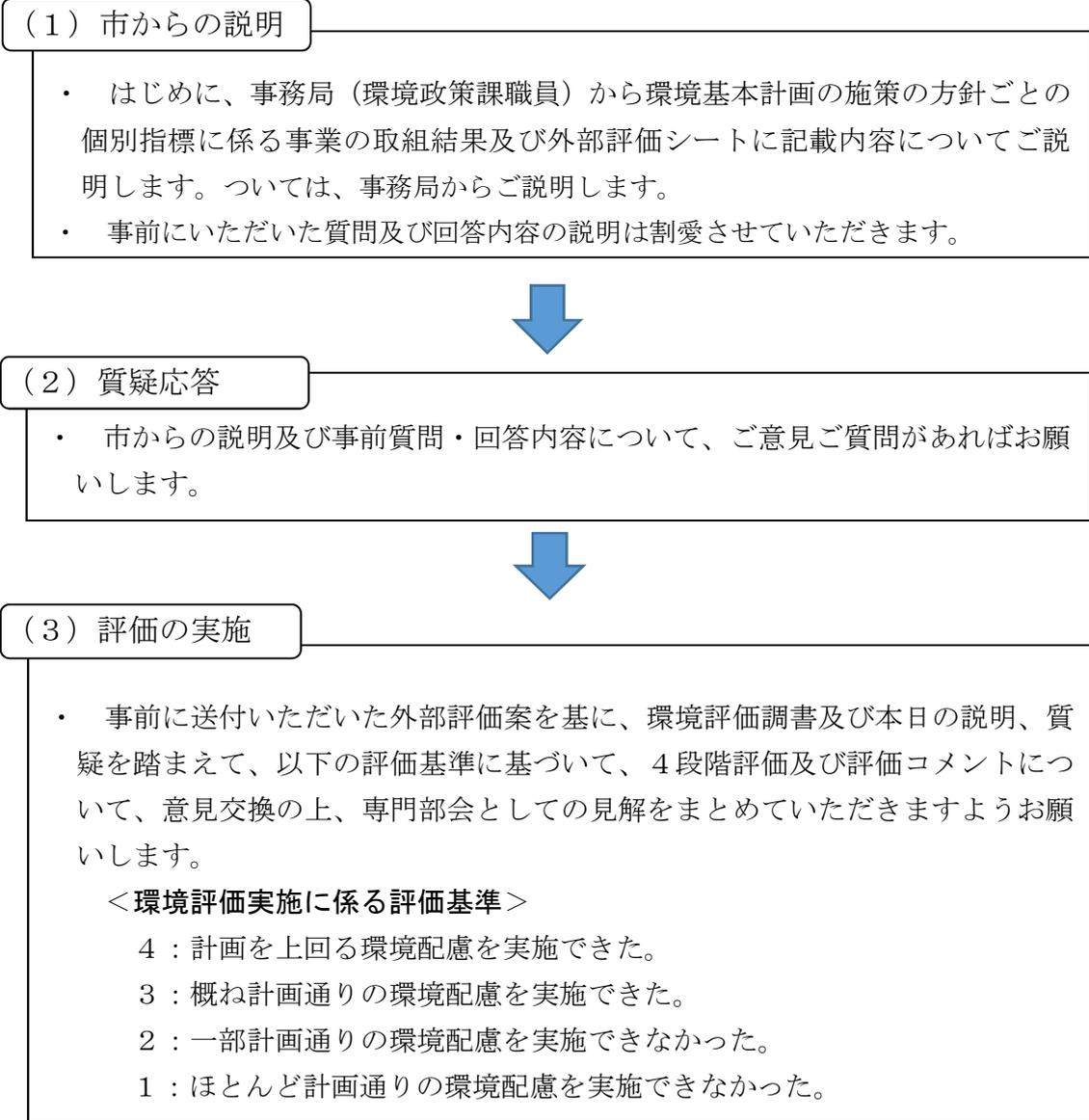
1 全般的な流れ

- ・ 本日の評価対象となる 9 つの施策の方針について、1 方針ずつ説明・質疑・評価を行います。



- ・ 原則として、方針順に評価を進めていきます。
- ・ 本日のスケジュールにつきましては、別添資料 1 - 2 をご参照ください。

2 体系ごとの説明の流れ



事業所管課ヒアリング要望シート		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
1-1-a	市の事務事業における温室効果ガス排出量	環境共生係
確認したい事項の概要		
<p>1. 目標値への進捗見込みの進捗率70.4は、間違いで正しくは30.7です。</p> <p>2. 目標値進捗実績の進捗率73.2は間違いで正しくは、39.6です。</p> <p>3. 実施結果の記述で、担当部門は「見込み」に対して「実績」が大きかった理由の分析結果を実施結果に記述してください。わかる範囲で回答してください。</p> <p>4. 課題等でコロナ禍の影響が判別できないとありますが、コロナによる臨時休館等通常と異なる事項を推定することでコロナの影響もある程度把握できるはず。わかる範囲で回答してください。</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
1-1-b	個人住宅用太陽光発電導入状況	環境共生係
確認したい事項の概要		
<p>1. 進捗実績は+939kwであるが、補助実績の431.19kwの違いは何か？</p> <p>2. 補助した施設の完成後の実態に問題はなかったか？例えば設置近隣でクレームや問題（大雨時の地すべりなど）はなかったか？</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
1-1-c	エネファーム導入状況	環境共生係
確認したい事項の概要		
<p>1. 補助実績15件の台数は、何台か？進捗実績+39台と同じか？違うならその理由を回答してください。</p> <p>2. 「変更点」で対象機器の基準の見直しの内容は何か？またその見直しは実施結果にどのように効果があったのか？</p> <p>3. 「課題等」で国が支援を終了した理由が何で市はどうすべきと考えるのか？また終了するのであれば他の施策はあるのか？</p>		

事業所管課ヒアリング要望シート

環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
1-1-d	低公害車の導入状況	環境共生係
確認したい事項の概要		
<p>1. 補助実績17台と進捗実績+39台との違いは何か                  2. 「実施結果」でアンケートを実施してどんな事が解りましたか？また、補助台数を増やすどんなヒントが見つかりましたか？</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
No.	個別指標	所管課名
確認したい事項の概要		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
No.	個別指標	所管課名
確認したい事項の概要		

事業所管課ヒアリング要望シート

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
健やかに暮らせる安全。安心な環境を確保します		水環境を守ります
No.	個別指標	所管課名
2-1-a	水洗化率	下水道課

確認したい事項の概要

1. 目標値への進捗見込みは、98.3%です。見込み進捗率は、6%です。
2. 目標値進捗実績は、98.2%です。その進捗率は、0%です。
3. 取組結果の36件で水洗化率の実績は数字でいくらか？微増傾向の中身を教えてください。
4. 課題等で、人口増だと水洗化率が鈍化するとはどういうことですか？

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
健やかに暮らせる安全。安心な環境を確保します		水環境を守ります
No.	個別指標	所管課名
2-1-b	公共下水道の普及率	下水道課

確認したい事項の概要

1. 目標値への進捗見込みは、96.1%です。進捗率は、4.8%です。
2. 目標値進捗実績は、96.2%です。進捗率は、7.3%です。
3. 実施結果で、計画に対して進捗が見込んだより良かった理由は何ですか？
4. 課題頭で、市民への丁寧な説明が行えなかったのに進捗実績が上がったのは内容を分析しましたか？

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
健やかに暮らせる安全。安心な環境を確保します		水環境を守ります
No.	個別指標	所管課名
2-1-c	水循環に関する情報の発信回数	環境共生係

確認したい事項の概要

1. 目標値について、市民が河川水質環境に関心を持ち、市の河川水質環境基準達成に市民の理解と協力が得られたかどうかを目標にすべきではないか？情報発信の回数をあげることが有効性があるか検討するべきではないか？

事業所管課ヒアリング要望シート

環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
えびならしさを守り、育み、将来に引き継ぎます		農業地を守ります
No.	個別指標	所管課名
3-2-a	農作業受委託面積	農政課
確認したい事項の概要		
<p>1. 現状値32haを毎年10年間達成するのが目標であれば、2029年の目標値は累計+320haとすべきです。</p> <p>2. とすれば、進捗見込みの+32haは、進捗率10%です。進捗実績も+32haで10%です。</p> <p>3. 担当評価で目標値を達成できていないが、とあるのは、何がどう達成できていないのですか？</p> <p>4. 同じく担当評価で、目標が達成できていないのに「委託事業は順調に進んでいる」とはどういう判断か？</p> <p>5. 内部評価者は、何をもって「担当課の評価を支持する」のか？目標値を達成できていないのに。</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
えびならしさを守り、育み、将来に引き継ぎます		農業地を守ります
No.	個別指標	所管課名
3-2-b	市民農園利用者数	農政課
確認したい事項の概要		
<p>1. 進捗率は、15.8%です。進捗見込みは、+16人(495人)です。</p> <p>2. 進捗実績は、19.8%です。実績数は、+20人(499人)です。</p> <p>3. 実施結果で、苦情に対する利用者への周知は、利用者減の予防になるが、新規利用者増にはどう効果があったのですか？</p> <p>4. 内部評価者は、何をもって担当部課の評価を支持したのか？進捗実績499人を進捗率100.8%と報告していることの指摘はしないのか？</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
えびならしさを守り、育み、将来に引き継ぎます		農業地を守ります
No.	個別指標	所管課名
3-2-c	農業体験イベント参加者数	農政課
確認したい事項の概要		
<p>1. 目標値の立て方が解らない。①2029年10年で、毎年増加して2700人を3000人に持っていきたいのなら、+300人とするべきです。②毎年参加者数が変わるのであれば、2029年10年で、累計参加人数にするべきです。目標を立て直してください。</p> <p>2. 担当課評価と内部監査評価とも適正な目標がたてられていないのに「概ね計画通り」の評価は、何が計画通りなのか？判断の根拠を示してください。</p>		

## 海老名環境マネジメントシステム外部評価質問事項に関する回答

### 《1-1-a 市の事務事業における温室効果ガス排出量》 環境政策課回答

#### 【質問1】

目標値への進捗見込みの進捗率 70.4 は、間違いで正しくは 30.7 です。

#### 【回答】

委員による進捗率計算は、

$$\text{「現状値 (11,077)」} - \text{「目標値への進捗見込 (9,792)」} = 1,285 \dots \text{①}$$

$$\text{「現状値 (11,077)」} - \text{「目標値 (6,900)」} = 4,177 \dots \text{②}$$

$$\text{①} \div \text{②} = 30.7\% \text{ (30.76\%)}$$

というお考えでいられると思います。

環境政策課の考え方について、環境管理計画・環境評価書に記載しております進捗率につきましては、「目標値への進捗見込」、「目標値進捗実績」との記載から、目標値と比較し、年度実績がどこまで目標値に近づけているかという割合を記載するものであると考えております。

そのため、算出方法としましては、

$$\text{「目標値への進捗見込の進捗率」} = \text{「目標値」} \div \text{「目標値への進捗見込」}$$

$$\text{「目標値進捗実績の進捗率」} = \text{「目標値」} \div \text{「目標値進捗実績」} \text{で計算しております。}$$

#### 【質問2】

目標値進捗実績の進捗率 73.2 は間違いで正しくは、39.6 です。

#### 【回答】

上記回答と同様になります。

#### 【質問3】

実施結果の記述で、担当部門は「見込み」に対して「実績」が大きかった理由の分析結果を実施結果に記述してください。わかる範囲で回答してください。

#### 【回答】

公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行う取組みによる削減効果に加えて、コロナ禍における公共施設の閉館によるエネルギー使用量の減少が温室効果ガス削減につながっていると思われます。

#### 【質問4】

課題等でコロナ禍の影響が判別できないとありますが、コロナによる臨時休館等通常と異なる事項を推定することでコロナの影響もある程度把握できるはず。わかる範囲で回答してください。

#### 【回答】

以下のとおり CO2 大口排出施設別に以下のとおり表を作成しました。表から、多くの施設でコロナによる影響を受け、CO2 排出量が大きく減少している一方で、市役所本庁舎及び小中学校では逆に排出量が増加しており、施設によりコロナ禍の影響が異なることがわかりました。

排出量増加の要因としては、コロナ禍による換気を徹底している中で、熱中症対策として空調機を使用していたことが考えられます。

主な大口排出施設の CO2 排出量 (H25～R2 年度)

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H2 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
市役所本庁舎	961,397	968,251	853,332	868,944	821,078	822,846	777,110	819,300
えびな市民活動センター	192,062	512,944	1,017,477	1,037,177	967,227	985,010	905,692	699,794
文化会館	748,395	783,566	759,980	745,164	753,331	623,781	637,691	164,659
図書館(中央・有馬)	229,881	277,517	183,089	519,596	505,484	478,193	519,209	340,334
市内小中学校	1,952,299	1,891,241	1,732,437	1,828,432	1,648,164	1,838,150	1,788,355	2,073,834
コミセン・文化センター	533,601	592,225	588,914	597,424	549,929	476,625	535,258	430,649

(単位：kg-CO2)

### ＜1-1-b 個人住宅用太陽光発電導入状況＞ 環境政策課回答

#### 【質問1】

進捗実績は+939kw であるが、補助実績の 431.19kw の違いは何か？

#### 【回答】

補助実績の 431.19kw は、令和2年度の実績になります。

進捗実績+939kw は、令和元年度と令和2年度の実績の合計になります。

#### 【質問2】

補助した施設の完成後の実態に問題はなかったか？例えば設置近隣でクレームや問題(大雨時の地すべりなど)はなかったか？

#### 【回答】

市が補助した設備に関するクレームは、今現在で1件も受け付けておりません。

なお、大雨時の地すべりについてですが、当市で実施している太陽光発電施設への補助は個人住宅用（住宅の屋根に設置）であるため、地すべりなどの問題は発生しないものと考えております。

### ＜1-1-c エネファーム導入状況＞ 環境政策課回答

#### 【質問1】

補助実績15件の台数は、何台か？進捗実績+39台と同じか？違うならその理由を回答してください。

#### 【回答】

補助実績15件は補助台数1台を1件としてカウントしているため、実績は15台となります。また、進捗実績+39台は、令和元年度と令和2年度の補助実績の合計になります。

#### 【質問2】

「変更点」で対象機器の基準の見直しの内容は何か？またその見直しは実施結果にどのように効果があったのか？

#### 【回答】

令和2年度までは、「経済産業省の燃料電池の利用拡大に向けたエネファーム等導入支援事業費補助金の対象となるもの」を補助対象機器として定めていましたが、経済産業省での補助金制度が令和2年度いっぱい終了になることに伴い、「一般社団法人燃料電池普及促進協会が指定した機器」と基準を変更いたしました。

しかし、補助対象範囲に変更はないため、例年通りの補助実績が見込まれます。

#### 【質問3】

「課題等」で国が支援を終了した理由が何で市はどうすべきと考えるのか？また終了するのであれば他の施策はあるのか？

#### 【回答】

国（経済産業省）が支援を終了した理由としては、当初の事業目的を達成できたことにあります。

本市といたしましては、エネファームの普及は今後も重要な取組みの一つであると考えているため、当面は補助を継続していく予定ですが、国及び他自治体の補助事業や新たな環境配慮設備などの情報を統合的に研究し、時代に合った支援をしていきたいと考えております。

### ＜1-1-d 低公害車の導入状況＞ 環境政策課回答

#### 【質問1】

補助実績17台と進捗実績+39台との違いは何か

**【回答】**

補助実績 17 台は、令和 2 年度の実績になります。

また、進捗実績+39 台は、令和元年度と令和 2 年度の補助実績の合計になります。

**【質問 2】**

「実施結果」でアンケートを実施してどんな事が解りましたか？また、補助台数を増やす  
どんなヒントが見つかりましたか？

**【回答】**

環境保全対策支援事業補助金利用者アンケートの中で、電気自動車で蓄えた電気を家に  
供給する施設 (V2H:Vehicle to Home)の設置状況はわずか 24%であることが分かった。  
また、アンケート内の自由記載欄の中に、電気自動車の充電設備を増やして欲しいとの意見  
を頂いた。現状、低公害車を普及するうえで、充電設備の少なさが一因となっていることを  
踏まえると、充電設備の拡大やV2H導入の支援が低公害車の普及にもつながっていくと考  
える。

**《2-1-a 水洗化率》 下水道課回答**

**【質問 1】**

目標値への進捗見込みは、98.3%です。見込み進捗率は、6%です。

**【回答】**

進捗率は当該年度の進捗率ではなく当該年度末になるであろう水洗化率としており  
ます。下水道課では平成 30 年度時点の現状値（水洗化率）が 98.2%です。また、目標値  
（水栓化率）は 100%です。目標値への進捗見込みは例年 0.1%ずつ進捗しているため、  
0.1%としました。進捗率は現状値に令和 2 年度上がると思われる 0.1%を加え、98.3%と  
しました。

この数値は、県に報告している数値と同様になります。

**【質問 2】**

目標値進捗実績は、98.2%です。その進捗率は、0%です。

**【回答】**

進捗率は当該年度の進捗率ではなく当該年度末になるであろう水洗化率としており  
ます。目標値進捗実績は現状値から目標値進捗実績内の進捗率を引いた値を目標値進捗  
実績としています。

**【質問 3】**

取組結果の 36 件で水洗化率の実績は数字でいくらか？微増傾向の中身を教えてください。

**【回答】**

実績も 36 件（1,080,000 円）です。

**【質問4】**

課題等で、人口増だと水洗化率が鈍化するとはどういうことですか？

**【回答】**

水洗化率は水栓化人口/処理区域内人口で計算されるものです。処理区域人口は下水道の整備が終わっている地区に住んでいる人口です。また水洗化人口は処理区域で実際に公共下水道に接続している人口になります。処理区域内に移動してくる人が多いと水洗化率は鈍化する傾向にあります。

**《2-1-b 公共下水道の普及率》 下水道課回答**

**【質問1】**

目標値への進捗見込みは、96.1%です。進捗率は、4.8%です。

**【回答】**

進捗率は当該年度の進捗率ではなく当該年度末になるであろう普及率としております。下水道課では平成30年度時点の現状値（普及率）が95.9%です。また、目標値（普及率）は100%です。目標値への進捗見込みは例年0.2%ずつ進捗しているため、0.2%としました。進捗率は現状値に令和2年度上がると思われる0.2%を加え、96.1%としました。

**【質問2】**

目標値進捗実績は、96.2%です。進捗率は、7.3%です。

**【回答】**

進捗率は当該年度の進捗率ではなく当該年度末になるであろう水普及率としております。目標値進捗実績は現状値から目標値進捗実績内の進捗率を引いた値を目標値進捗実績としています。

**【質問3】**

実施結果で、計画に対して進捗が見込んだより良かった理由は何ですか？

**【回答】**

当初の想定より、工事進捗が良かったことが理由です。普及率は処理区域内人口/行政人口で計算されるものです。工事の進捗が良くなれば処理区域内人口が増え、普及率は高くなります。

**【質問4】**

課題等で、市民への丁寧な説明が行えなかったのに進捗実績が上がったのは内容を分析しましたか？

**【回答】**

はい。

普及率は工事の進捗が良くなれば処理区域内人口が増え、普及率は高くなります。市民への丁寧な説明は付帯的に必要なことと理解しています。

**《2-1-c 水循環に関する情報の発信回数》 環境政策課回答**

**【質問1】**

目標値について、市民が河川水質環境に関心を持ち、市の河川水質環境基準達成に市民の理解と協力が得られたかどうかを目標にすべきではないか？

情報発信の回数をあげることが有効性があるか検討すべきではないか？

**【回答】**

河川水質分析結果について、市民の皆様理解と協力を得るためには、様々な媒体を利用し、情報発信を多く行うことが効果的だと考える。

また、いただいたご意見につきましては、次回目標値を新たに策定する際に参考とさせていただきます。

**《3-2-a 農作業受委託面積》 農政課回答**

**【質問】**

1. 現状値 32ha を毎年 10 年間達成するのが目標であれば、2029 年の目標値は累計+320ha とすべきです。

2. とすれば、進捗見込みの+32ha は、進捗率 10%です。進捗実績も+32ha で 10%です。

3. 担当評価で目標値を達成できていないが、とあるのは、何がどう達成できていないのですか？

4. 同じく担当評価で、目標が達成できていないのに「委託事業は順調に進んでいる」とはどういう判断か？

5. 内部評価者は、何をもって「担当課の評価を支持する」のか？目標値を達成できていないのに。

**【回答】**

1. 2.

事業内容として、農地が荒廃することを抑制するための一つとして市内営農組合に水稲作における稲刈り等の委託事業を行っています。

現状値 32ha に対して目標値 32ha というのは、10 年間の期間で毎年 32ha ずつ増やして最終的に 320ha にしていくという意味ではなく、現状値の 32ha を毎年継続して維持していくという意味で設定しております（毎年ほぼ同じ農地を耕作する予定です）。

農作業の委託事業であり、毎年度同じ面積の新たな農地の水稲作作業を委託する農業者が増えることは考えにくく、また、一部の営農組合では高齢化が進みこれ以上受託面積を増

やすことは困難であると思われるため、現状値の 32ha を下回らないよう取り組んでいるところ です。

3.

現状値、目標値進捗実績の数値は共に 32ha となっておりますが、この 32ha は端数処理後の数値であり、端数処理前の数値では現状値 31.84ha、目標値進捗実績 31.74ha となっております。

端数処理後の数値は 32ha であるため目標値を達成できていますが、端数処理前の数値では目標値進捗実績が目標値よりも僅かに下回っていたため、担当評価では「目標値が達成できていない」と記載していたものです。

わかりづらく大変申し訳ございませんでした。

4.

上記 3. のとおり、端数処理前の数値では目標値を達成できていないところではありますが、「委託事業は順調に進んでいる」とは、南部農業拠点施設の管理及び稲刈り等の作業業務の委託事業について、毎年委託契約を締結し、業務を行っていることについて述べたもので、糶摺り機の故障はありましたが、業務に支障をきたすことはなかった為順調に進んでいると判断しました。

5.

担当評価の「目標値を達成できていない」ということについては、担当課にヒアリングを行った上で上記 3. のことを確認しておりました。

それを踏まえ、「担当課の評価を支持する」と評価したものです。(環境政策課記述)

### 《3-2-b 市民農園利用者数》 農政課回答

#### 【質問】

1. 進捗率は、15.8%です。進捗見込みは、+16人(495人)です。

2. 進捗実績は、19.8%です。実績数は、+20人(499人)です。

3. 実施結果で、苦情に対する利用者への周知は、利用者減の予防になるが、新規利用者増にはどう効果があったのですか？

4. 内部評価者は、何をもって担当部課の評価を支持したのか？進捗実績 499人を進捗率 100.8%と報告していること の指摘はしないのか？

【回答】

1.

目標値への進捗見込みの進捗率の計算方法として、

「目標値への進捗見込み（495人）」÷「目標値（580人）」＝85%

という考え方をしておりました。

2.

目標値進捗実績の進捗率 100.8%については、

「目標値進捗実績（499人）」÷「目標値への進捗見込（495人）」＝100.8%

と計算しており、これに対し担当課、内部評価者及び事務局もこの進捗率の数値間違いに気づきませんでした。

委員からのご指摘を受け、再度進捗率を見直したところ、本来の計算方法では、

「目標値進捗実績（499人）」÷「目標値（580人）」＝86%

であることがわかりました。

これを受け、改めて担当評価及び内部評価に変更がないか各評価者に確認したところ、いずれも評価に修正がない旨を確認しております。（環境政策課記述）

3.

委員ご指摘のとおり「苦情に対する利用者への周知」自体は、利用者減を防ぐものであり、新規利用者増に対しては、効果はあまりなかったと考えます。

新規利用者増については、ホームページの掲載内容の定期的な見直し、空き状況の更新頻度を増やしたことで、利用者増の効果があつたと考えます。

新規利用者増に対する効果の記載を、調書内の「変更点」の部分に記載しており、わかりづらい記載となり申し訳ございませんでした。

4.

目標値進捗実績の進捗率 100.8%の誤りについては気付いておりませんでした。

進捗実績 499 人が進捗見込 495 人を上回ったことや、ホームページの掲載内容の定期的な見直し及び空き状況の更新頻度の増加により利用者の増加を図ったこと等を踏まえ、担当評価の内容を支持したものです。（環境政策課記述）

＜3-2-c 農業体験イベント参加者数＞ 農政課回答

【質問】

1. 目標値の立て方が解らない。①2029年10年で、毎年増加して2700人を3000人に持っていきたいのなら、+300人とするべきです。②毎年参加者数が変わるのであれば、2029年

10年で、累計参加人数にするべきです。目標を立て直してください。

2. 担当課評価と内部監査評価とも適正な目標がたてられていないのに「概ね計画通り」の評価は、何が計画通りなのか？判断の根拠を示してください。

【回答】

1.

目標値への進捗見込（2,400人）の立て方の考えとして、現状値（令和元年度）は2,700人でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延を考慮して、令和元年度よりも低い進捗見込（2,400人）を立てました。

しかし、委員からご指摘いただいた通り、参加者数は変動いたします。

現在記されている目標値（3,000人）は海老名市第三次環境基本計画に既に記載されているものであるため、次回計画見直しの際に、累計参加人数にする旨を検討させていただきたいと思っております。

2.

新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、中止となった事業（トマト、梨）もありましたが、感染症対策（来客への手指消毒及びマスク着用の要請、整列や分散来場による混雑緩和等）を行った上で、実施した事業（ラッカセイ、さつまいも）もあり、農業に対する理解の促進や地域の農業従事者・農作物に対する理解の促進が出来たと考え、「概ね計画通り」と判断いたしました。

# 里村委員

事業所管課ヒアリング要望シート		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-1 地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
a	市の事務事業における温室効果ガス排出量	環境政策課
<p>・「進捗率」の計算式について説明願います。</p> <p>・例えば市の事務事業における温室効果ガスの排出量、CO2排出量削減進捗見込70.4%、進捗率：73.2%とありますが、正しいでしょうか？「進捗率」とは、目標値まで進捗した場合を100%として、目標値への進捗見込みと進捗実績の比率（%）と思います。</p> <p>・循環型社会形成のリサイクル率、事業系ごみ排出量、市庁舎ゴミ排出量の進捗率にも正しいでしょうか？進捗率を計算してみました。進捗率シートを参照下さい。</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-1 地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
b	市の事務事業における温室効果ガス排出量	環境政策課
確認したい事項の概要		
<p>・CO2排出量の中長期的な実績値を提示して下さい。（「海老名市地球温暖化計画」10ページの表を令和2年度まで延長したデータ）数値は中長期的に推移をレビューすることが大切です。</p> <p>・市庁舎、えびな市民活動センター、文化会館、図書館など大口排出施設別にグルーピングして把握、管理されていると思います。その数値を提示願います。 令和2年度にCO2の排出量が大幅に減少したのは、コロナによる公共施設の閉館、開館時間の短縮が影響していると思いますが、施設別に排出量の推移をレビューするとコロナの影響度、省エネの進捗度が把握できます。</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-1 地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
c	市の事務事業における温室効果ガス排出量	環境政策課
確認したい事項の概要		
<p>・「海老名市地球温暖化計画」13ページに、取組の基本方針3項目（環境配慮の推進、設備運用の改善、設備機器の更新）が記載されています。項目毎に令和2年度に実施した事項、課題等を説明願います。</p> <p>・CO2排出量データに関する関連質問 「海老名市地球温暖化計画」10ページの表のCO2排出量と、「えびな環境白書2019」6ページの排出量の6年分の内4年分の数値に齟齬があります。これについて説明願います。</p> <p>・電力使用量、ガソリン等を毎月入力する拠点が100か所ほどあり、その数値を年2回収集し加算し排出係数を乗じて、排出量を算定・管理されていると思いますが、かなりの工数を要するためデータ収集、管理に苦労されていると思慮いたします。私はデータ収集のデジタル化など管理の改善が必要と考えます。</p>		

事業所管課ヒアリング要望シート

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-1 地球温暖化対策を推進します
No.	個別指標	所管課名
	市域/市の事務事業における温室効果ガス排出量	環境政策課

確認したい事項の概要

資料2-1 令和2年度外部評価シートに関する質問

- ・市域からの温室効果ガス排出量794千t-CO<sub>2</sub> (R12) ですが、「海老名市地球温暖化対策実行計画」では、目標年度(R12) 1,002千t-CO<sub>2</sub>となっています。目標値を見直した理由について説明して下さい。
- ・「市の事務事業における温室ガス排出量」の所管課コメントにおいて、「削減状況を環境白書を通じて公表することで・・・」と記載されていますが、海老名市ホームページでは2020(令和2年度)の環境白書は公表されていません。これについて、説明してください。

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-2 循環型社会を形成します
No.	個別指標	所管課名
a	リサイクル率	環境政策課

確認したい事項の概要

- ・リサイクル率の中長期的な実績値下さい。
- ・リサイクル率の目標40%を達成するには、H28 ベースでリサイクル量を3,377tごみ全体の排出量の8.6%を増やす必要があります。「分別徹底の周知・持ち去り防止のパトロール強化」で実現可能とお考えでしょうか？リサイクル量を増やすための方策、例えば剪定枝の資源化などの検討が必要と考えます。
- ・予算33,970千円の用途について。

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-2 循環型社会を形成します
No.	個別指標	所管課名
b	事業系ごみ排出量	環境政策課

確認したい事項の概要

- ・事業系ごみ排出量の中長期的な実績値を提示して下さい。

事業所管課ヒアリング要望シート

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-2 循環型社会を形成します
No.	個別指標	所管課名
c	市庁舎のごみ排出量	環境政策課

確認したい事項の概要

・含まれるごみの種類を説明してください。一般廃棄物だけなのか、食堂残渣、什器その他の産廃も入っているのかどうかについて。

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
No.	個別指標	所管課名

確認したい事項の概要

環境評価対象事務事業

基本方針		施策の方針
No.	個別指標	所管課名

確認したい事項の概要

中項目	小項目	現状値			目標値（目標年度）			目標値への進捗見込			目標値進捗実績		
		現状値	単位	年度	目標値	目標削減/増加量	年度	見込	現状値との差	進捗率	実績	現状値との差	進捗率
地球温暖化対策	市の事務事業における温室効果ガス排出量	11,077	t-CO2	H28/2016	6,900	-4,177	R 11/2029	9,792	-1,285	30.8%	9,423	-1,654	39.6%
	個人用太陽光発電導入状況（補助制度累計kW数）	8,649	kW	H30/2018	13,000	4,351	R 11/2029	9,756	1,107.0	25.4%	9,588	939	21.6%
	エネファーム導入状況（補助制度累計台数）	210	台	H30/2018	430	220	R 11/2029	264	54.0	24.5%	249	39	17.7%
	低公害車の導入状況（補助制度累計台数）	170		H30/2018	500	330	R 11/2029	231	61.0	18.5%	209	39	11.8%
循環型社会形成	リサイクル率	31.4	%	H28/2016	40	8.6	R 9/2027	39.5	8.1	94.2%	33.2	1.8	20.9%
	事業系ごみ排出量	8,336	t	H28/2016	5,145	-3,191	R 9/2027	5,391	-2,945	92.3%	7,749	-587	18.4%
	市庁舎ごみ排出量	1,512.710	kg	H28/2016	1,361.439	-151	R 11/2029	1,719.82	207	-136.9%	1,450.72	-62	41.0%
	生ごみ処理機の普及率(補助金制度実績)	8.9	%	H30/2018	10	1	R 11/2029	10	1.1	100.0%	10	1.1	100.0%

朱記、ゴシックの数値が、調書の数値と異なる

## 海老名環境マネジメントシステム外部評価質問事項に関する回答

### ＜1-1-a 市の事務事業における温室効果ガス排出量＞ 環境政策課回答

#### 【質問】

- ・「進捗率」の計算式について説明願います。
- ・例えば市の事務事業における温室効果ガスの排出量、CO2 排出量削減進捗見込 70.4%、進捗率:73.2%とありますが、正しいでしょうか？「進捗率」とは、目標値まで進捗した場合を 100%として、目標値への進捗見込みと進捗実績の比率 (%) と思います。
- ・循環型社会形成のリサイクル率、事業系ごみ排出量、市庁舎ゴミ排出量の進捗率にも正しいでしょうか？

進捗率を計算してみました。進捗率シートを参照下さい。

#### 【回答】

算出方法は以下のとおりです。

- 地球温暖化対策：市の事務事業における温室効果ガス排出量
- 循環型社会形成：リサイクル率、事業系ごみ排出量

環境管理計画・環境評価書に記載しております進捗率につきましては、「目標値への進捗見込」、「目標値進捗実績」との記載から、目標値と比較し、年度実績がどこまで目標値に近づけているかという割合を記載するものと考えております。

そのため、算出方法としましては、

「目標値への進捗見込の進捗率」＝「目標値」÷「目標値への進捗見込」

「目標値進捗実績の進捗率」＝「目標値」÷「目標値進捗実績」で計算しております。

- 市庁舎ごみ排出量

進捗率の計算は令和 11 年目標値 (1361.439) を令和 2 年実績値 (1450.72) で除した 結果を%で表示しています。

- 地球温暖化対策：低公害車の導入状況

委員ご指摘のとおり、18.5%が正しい進捗率となります。

### ＜1-1-a 市の事務事業における温室効果ガス排出量②＞ 環境政策課回答

#### 【質問】

- ・CO2 排出量の中長期的な実績値を提示して下さい。（「海老名市地球温暖化計画」10 ページの表を令和 2 年度まで延長したデータ）数値は中長期的に推移をレビューすることが大切です。
- ・市庁舎、えびな市民活動センター、文化会館、図書館など大口排出施設別にグルーピングして把握、管理されていると思います。その数値を提示願います。

令和 2 年度に CO2 の排出量が大幅に減少したのは、コロナによる公共施設の閉館、開館時間の短縮が影響していると思いますが、施設別に排出量の推移をレビューするとコロナの影響度、省エネの進捗度合が把握できます。

【回答】

◇市の事務事業からのCO2排出量（H25(2013)年度からR2年度(2020)年度までの実績）

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
電気	7,985,250	8,348,405	8,132,326	8,392,505	7,940,137	7,910,064	7,804,514	6,972,261	
燃料	灯油	628,026	536,112	488,781	533,793	533,526	526,141	434,482	372,829
	都市ガス	1,366,070	1,281,307	1,443,214	1,701,439	1,800,815	1,790,048	1,694,754	1,597,805
	軽油	194,036	194,273	183,982	180,605	181,781	186,577	200,428	184,384
	LPG	108,285	129,781	113,717	114,529	113,015	103,773	103,905	100,469
	ガソリン	164,141	160,648	159,344	153,945	154,521	155,776	151,994	142,666
合計	10,445,808	10,650,526	10,521,363	11,076,816	10,723,795	10,672,378	10,390,077	9,370,414	

（単位：kg-CO2）

主な大口排出施設のCO2排出量（H25～R2年度）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
市役所本庁舎	961,397	968,251	853,332	868,944	821,078	822,846	777,110	819,300
えびな市民活動センター	192,062	512,944	1,017,477	1,037,177	967,227	985,010	905,692	699,794
文化会館	748,395	783,566	759,980	745,164	753,331	623,781	637,691	164,659
図書館（中央・有馬）	229,881	277,517	183,089	519,596	505,484	478,193	519,209	340,334
市内小中学校	1,952,299	1,891,241	1,732,437	1,828,432	1,648,164	1,838,150	1,788,355	2,073,834
コミセン・文化センター	533,601	592,225	588,914	597,424	549,929	476,625	535,258	430,649

（単位：kg-CO2）

CO2大口排出施設別に表を作成しました。表から、多くの施設でコロナによる影響を受け、CO2排出量が大きく減少している一方で、市役所本庁舎及び小中学校では逆に排出量が増加しており、施設によりコロナ禍の影響が異なることがわかりました。

排出量増加の要因としては、コロナ禍による換気を徹底している中で、熱中症対策として空調機を使用していたことが考えられます。

＜1-1-a 市の事務事業における温室効果ガス排出量③＞ 環境政策課回答

【質問1】

・「海老名市地球温暖化計画」13ページに、取組の基本方針3項目（環境配慮の推進、設備運用の改善、設備機器の更新）が記載されています。項目毎に令和2年度に実施した事項、課題等を説明願います。

【回答】

当該基本方針の項目に係る取組については、各所管課において、必要に応じて予算措置を講じながら取組を進めるものであり、実施した事項及び課題等の個別の詳細について、当課では把握していない状況です。なお、市全体としては、コロナ禍による影響で、コロナ前に実施していた環境配慮の取組み

が出来なくなった面があることや、当初予定していた省エネに係る改修工事を含む、多くの事業が延期・凍結されたという状況が見受けられています。

**【質問 2】**

・CO2 排出量データに関する関連質問

「海老名市地球温暖化計画」10 ページの表の CO2 排出量と、「えびな環境白書 2019」6 ページの排出量の 6 年分の内 4 年分の数値に齟齬があります。これについて説明願います。

**【回答】**

令和 2 年 3 月に「海老名市地球温暖化対策実行計画」を改訂するにあたり、排出量を再計算した結果、数値に違いが生じたものです。

**【質問 3】**

・電力使用量、ガソリン等を毎月入力する拠点が 100 か所ほどあり、その数値を年 2 回収集し加算し排出係数を乗じて、排出量を算定・管理されていると思いますが、かなりの工数を要するためデータ収集、管理に苦勞されていると思慮いたします。データ収集のデジタル化など管理の改善が必要と考えます。

**【回答】**

当市では、表計算ソフト（エクセル）を活用して、データ収集を実施しております。

委員ご指摘のとおり、年 2 回の報告を通じて、施設所管課によりエクセルに各エネルギー使用量のデータ入力をしてもらった上で、環境政策課にてCO2排出量の算定をしているところです。施設所管課の入力チェックに時間を要しているところであり、今後もさらなる管理の改善に向けて研究に努めてまいります。

**◀1-1-a 市の事務事業における温室効果ガス排出量④▶ 環境政策課回答**

**【質問 1】**

・市域からの温室効果ガス排出量 794 千 t-CO2 (R12) ですが、「海老名市地球温暖化対策実行計画」では、目標年度 (R12) 1,002 千 t-CO2 となっています。目標値を見直した理由について説明して下さい。

**【回答】**

「海老名市地球温暖化対策実行計画」で記載されている目標年度 (R12) における「BAU 排出量 1,002 千 t-CO2」は、環境省が公開している「「区域施策編」目標設定・進捗管理支援ツール」により特に対策を講じなかった場合（現状すう勢ケース (BAU)）を計算した数値です。市としては、この結果を踏まえて、国が定める目標（基準年度比 26%削減）に近づけていくための取組みとして、市民・事業者・行政の取組みを記載しております。

**【質問 2】**

・「市の事務事業における温室効果ガス排出量」の所管課コメントにおいて、「削減状況を環境白書を通じて公表することで・・・」と記載されていますが、海老名市ホームページでは 2020（令和 2 年度）の環境白書は公表されていません。これについて、説明してください。

**【回答】**

委員ご指摘のとおり、環境白書はこれまで毎年度 1 回発行してきたところですが、2020（令和 2 年

度)の環境白書は、コロナ禍の影響で、環境マネジメントシステムの取組みに通常よりも時間を要したことから、令和2年度中の公表ができなかったものです。なお、現在公表に向けて準備を進めており、今月中を目途にHP等で公表する予定です。

## ◀1-2-a リサイクル率▶ 環境政策課回答

### 【質問】

- ・リサイクル率の中長期的な実績値下さい。
- ・リサイクル率の目標40%を達成するには、H28 ベースでリサイクル量を3,377t ゴミ全体の排出量の8.6%を増やす必要があります。「分別徹底の周知・持ち去り防止のパトロール強化」で実現可能とお考えでしょうか？リサイクル量を増やすための方策、例えば剪定枝の資源化などの検討が必要と考えます。
- ・予算33,970千円の使途について。

### 【回答】

	リサイクル率
H28	
H29	
H30	30.7%
H31 (R1)	
R2	33.2%

リサイクル率40%については一般廃棄物処理基本計画に定めた目標を本件目標値に引用しているものです。

### 【参考】 計算方法

「(資源物収集量+集団資源回収量+中間処理施設での資源化量) ÷ (家庭系ゴミ総排出量(可燃・不燃・粗大・資源物・集団資源回収) +事業系ゴミ総排出量)」

本市では、分別徹底の周知や持ち去り防止パトロールの強化も当然行っているところではございますが、さまざまな資源化手法を活用して、ゴミとはせず資源物としてリサイクルを進めております。ご意見にありました剪定枝の資源化についても令和元年9月30日から導入を始めております。

### 【資源化への取り組み(平成28年度からの新規の取り組み)】

○平成28年12月 1日 ミックスペーパーの品目拡大(いままでリサイクルできなかった「感熱紙、シュレッター紙、半紙、写真、カーボン紙、油紙など」)

○平成28年12月 1日 木製家具、布団のRPF化試行(平成29年4月1日から本格実施)

○平成30年 4月 1日 小型電気製品の資源化

○令和 元年 9月30日 剪定枝のRPF化

その他、容器包装プラスチックだけではなく、バケツなどのプラスチック製品や濡れた布のRPF化、粗大ゴミとして排出される木製家具の再生販売など、さまざまな資源化に向けた取組みも継続実施しているところです。本件予算は啓発やパトロールだけではなく、これら資源化のために要する費用の予算額ということになります。

リサイクル率については、近年ペットボトルや容器包装プラスチックなどの資源物の軽量化が進み、

資源物の「重量」が少なくなっていることが大きく影響していると考えます。しかしながら、それを踏まえても資源化への取り組みはさらに進めていかなければならないと考えているため、新たな資源化ルートを検討も引き続き行う必要があると考えています。

### ＜1-2-b 事業系ごみ排出量＞ 環境政策課回答

#### 【質問】

- ・事業系ごみ排出量の中長期的な実績値を提示して下さい。

	事業系ごみ排出量
H28	8,336t
H29	8,623t
H30	8,509t
H31 (R1)	8,665t
R2	7,749t

### ＜1-2-c 市庁舎のごみ排出量＞ 財産・車両課回答

#### 【質問】

・含まれるごみの種類を説明してください。一般廃棄物だけなのか、食堂残渣、什器その他の産廃も入っているのかどうかについて。

#### 【回答】

ごみの範囲は一般廃棄物のうち焼却処分する非資源ごみ（食事後始末）です。食堂残渣、什器その他の産廃は入っておりません。なお、食堂残渣は市庁舎内で堆肥化処理を行っています。

# 後藤委員

事業所管課ヒアリング要望シート														
環境評価対象事務事業														
基本方針		施策の方針												
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-3 緑・水・生きものと共生します												
No.	個別指標	所管課名												
1-3-a	自然緑地保全区域面積・樹木数	都市施設公園課												
確認したい事項の概要														
<p>交付の対象となっている下記、において平均単価がそれぞれ異なります。            ①交付に対するそれぞれの内容をお教えください。            ②また、奨励金の配布に当たり選定基準があれば、どのようなものを教えてください</p> <p>自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績</p> <table border="0"> <tr> <td>・自然緑地保全区域</td> <td>97件</td> <td>5,422,865円</td> <td>平均単価@55,905</td> </tr> <tr> <td>・自然緑地保存樹木</td> <td>179件</td> <td>714,000円</td> <td>平均単価@3,988</td> </tr> <tr> <td>・保存生垣</td> <td>34件</td> <td>235,600円</td> <td>平均単価@6,911</td> </tr> </table>			・自然緑地保全区域	97件	5,422,865円	平均単価@55,905	・自然緑地保存樹木	179件	714,000円	平均単価@3,988	・保存生垣	34件	235,600円	平均単価@6,911
・自然緑地保全区域	97件	5,422,865円	平均単価@55,905											
・自然緑地保存樹木	179件	714,000円	平均単価@3,988											
・保存生垣	34件	235,600円	平均単価@6,911											
環境評価対象事務事業														
基本方針		施策の方針												
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1-3 緑・水・生きものと共生します												
No.	個別指標	所管課名												
1-3-c	生物多様性に関する情報の発信回数	環境政策課												
確認したい事項の概要														
<p>R2年度、目標進捗率が、0%となっていますが実際特定外来生物（ヒアリ）についてのホームページでの周知は行われています。1/3で33%が達成率ではないでしょうか。ご確認ください</p>														
環境評価対象事務事業														
基本方針		施策の方針												
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		3-1 都市環境を整備します												
No.	個別指標	所管課名												
3-1-a	道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	道路整備課												
確認したい事項の概要														
<p>当初のアンケートを実施する予定で、34.3%以上の満足度を指す予定でしたがアンケートが中止になり、<u>どの目標に対する評価なのかがわかりにくくなっています</u>。期中に目標の変更を行わなかったのはなぜでしょうか？</p> <p>実際に、当初予定していた整備工事は、予算内でおおむね実施することができ、狭小道路の拡幅、砂利道の舗装を行ったことで、渋滞の解消による排気ガスの抑制、粉塵・砂埃の抑制につながり、近隣住民の住環境の向上が図れた。ということなら、それを目標値にすればよいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>														

事業所管課ヒアリング要望シート

環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		3-1 都市環境を整備します
No.	個別指標	所管課名
3-1-a	道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	道路整備課
確認したい事項の概要		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
4 みんなでえびなの環境を考え、行動します		1 環境を考え、行動します
No.	個別指標	所管課名
4-4-1-c	海老名市地域緑化事業への登録団体数	都市施設公園課
確認したい事項の概要		
<p>①R2年度、53団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行ったとのことですが、どのようにして登録団体数を増やしたのでしょうか？その活動こそが施策なのではないでしょうか？</p> <p>②また、198万円の予算を55団体に配布すると、平均@3.6万円です。これはどのように使う目的で使用するものなのでしょうか？</p>		
環境評価対象事務事業		
基本方針		施策の方針
No.	個別指標	所管課名
確認したい事項の概要		

## 海老名環境マネジメントシステム外部評価質問事項に関する回答

### 《1-3-a 自然緑地保全区域面積・樹木数》 都市施設公園課回答

#### 【質問】

交付の対象となっている下記、において平均単価がそれぞれ異なります。

- ①交付に対するそれぞれの内容をお教えてください。
- ②また、奨励金の配布に当たり選定基準があれば、どのようなものを教えてください

自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績

・自然緑地保全区域	97件	5,422,865円	平均単価@55,905
・自然緑地保存樹木	179件	714,000円	平均単価@3,988
・保存生垣	34件	235,600円	平均単価@6,911

#### 【回答】

①

- ・自然緑地保全区域  
毎年度における固定資産税及び都市計画税に相当する額に、土地の面積100㎡につき1,000円を加算した額を奨励金として交付しております。
- ・自然緑地保存樹木  
樹木1本につき4,000円を奨励金として交付しております。
- ・保存生垣  
生垣の長さ1mにつき400円を奨励金として交付しております。

②

- ・自然緑地保全区域  
その区域に属する樹木が健全で当該樹木の区域の面積が500㎡以上であること。
- ・自然緑地保存樹木  
次のいずれかに該当し、健全で、かつ、樹容が美観上すぐれていること。
  - (1) 地上から1.5mの高さにおける幹の周囲が1.5m以上の樹木であること。
  - (2) 高さ3m以上の株立ちした樹木であること。
  - (3) 地上から1.5mの高さにおける幹の周囲が1.0m以上の樹木10本以上を含む並木であること。
- ・保存生垣  
奨励金の交付の対象となる生垣は、高さのほぼ均一な樹木を列状に植栽し、原則として竹、丸太等を補助材料に用いた垣根であって、次に掲げる要件を満たしているものです。
  - (1) 樹木の高さは、90cm以上であること。
  - (2) 樹木本数は、1mにつき2本以上であること。
  - (3) 樹木の種類は、市長が推奨するものであること。この場合において、他の樹木に

- 悪影響を与えるもの（イブキ類、ハイビヤクシン類等）は推奨しない。
- (4) 生垣を構成している土台の高さが、宅地面から65cm以下であること。
  - (5) 公道等に接する長さが5m以上あり、かつ、樹木が健全で美観的に優れていること。
  - (6) その他市長が特に認めたもの。

### 《1-3-c 生物多様性に関する情報の発信回数》 環境政策課回答

#### 【質問】

R2年度、目標進捗率が、0%となっていますが実際特定外来生物（ヒアリ）についてのホームページでの周知は行われています。1/3で33%が達成率ではないでしょうか。ご確認ください

#### 【回答】

特定外来生物のヒアリ、セアカゴケグモ、オオキンケイギクに関する周知をそれぞれ1回ずつ行いました。

よって、情報の発信回数は年3回であり、現状値と変動がなかったため、進捗率は0%となっております。

### 《3-1-a 道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)》 道路整備課回答

#### 【質問】

当初のアンケートを実施する予定で、34.3%以上の満足度を目指す予定でしたがアンケートが中止になり、どの目標に対する評価なのかがわかりにくくなっています。期中に目標の変更を行わなかったのはなぜでしょうか？

実際に、当初予定していた整備工事は、予算内でおおむね実施することができ、狭小道路の拡幅、砂利道の舗装を行ったことで、渋滞の解消による排気ガスの抑制、粉塵・砂埃の抑制につながり、近隣住民の住環境の向上が図れた。ということなら、それを目標値にすればよいと思うのですが、いかがでしょうか。

#### 【回答】

個別指標の評価は、2年に1回実施する市政アンケートの結果に基づいて評価を行っています。

海老名市第三次環境基本計画において指標の設定をしており、年度毎に指標変更を行うものではございませんので、計画策定から5年を目処に指標の見直しを検討して参ります。

## 《4-1-c 海老名市地域緑化事業への登録団体数》 環境政策課回答

### ※海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数

#### 【質問】

- ①R2 年度、53 団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行ったとのことですが、どのようにして登録団体数を増やしたのでしょうか？その活動こそが施策なのではないでしょうか？
- ②また、198 万円の予算を 55 団体に配布すると、平均@3.6 万円です。これはどのように使う目的で使用するものなのでしょうか？

#### 【回答】

委員よりいただいたご質問は、「海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数」へのご質問のことかと存じますので、それを踏まえて回答させていただきます。

①きれいなまちづくり事業の団体登録は、R1 年度が 54 団体であり、昨年と比較して減少しております。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を自粛する決定を行った団体があり、当初から団体登録を行わなかったことが理由として考えられます。

きれいなまちづくり事業登録団体の増加も重要な施策といえますが、市として考える目標であり、期待する結果は地域美化活動の促進にあります。きれいなまちづくり事業の団体登録を行わずとも美化活動を実施している団体が、複数存在していることも把握しておりますが、団体登録をし、美化活動を行うことで奨励金を交付しておりますので、これが地域における美化活動を継続する理由付けの 1 つになっているものと考えております。

②交付した奨励金の使用目的について、要綱等で制限を設けておりませんので、各団体の判断に委ねられることとなります。市の希望としては、きれいなまちづくり事業が継続されるために使用していただけることを望んでおります。

## 令和 2 年度事業外部評価シート

令和 2 年度事業外部評価シート			
基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1 地球温暖化対策を推進します	
目標指標		令和 2 年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
市域からの温室効果ガス排出量		9 3 5 千t-CO2	
1, 0 5 5 千t-CO2 (平成 2 8 年度)	7 9 4 千t-CO2 (令和 1 1 年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
市の事務事業における温室効果ガス排出量	2	2	市の事務事業からの削減による寄与だけでなく、削減状況を環境白書等を通じて公表することで市全体の削減意識の向上に寄与できました。
個人住宅用太陽光発電導入状況	3	3	個別指標の目標には達していませんが、太陽光発電設備の普及により目標達成に寄与出来ていると考えます。
エネファーム導入状況	2	2	個別指標の目標には達していませんが、エネファームの普及により目標達成に寄与出来ていると考えます。
低公害車の導入状況	2	2	個別指標の目標には達していませんが、低公害車の普及により目標達成に寄与出来ていると考えます。
外部評価			
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。 (個別指標での努力もあるが、施策の方針の実績に繋がっていない。)		
判断理由及び評価内容			
<p>1. 「温室効果ガス排出量」で、コロナ禍であることを考慮しても省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進活動の効果が示せていません。進捗率の使い方は勉強してください。</p> <p>2. 「エネファーム導入」で、主な取り組みと活動実績の効果が繋がっているように見えません。前年の申請者へのアンケートで効果の要因分析が必要です。EMS活動に地道に取り組んで欲しい。</p> <p>3. 「低公害車の導入」で、せっかくアンケートで分かった「充電設備の拡大」や「V2H導入の支援」が普及に繋がると考えたなら何故それらの施策を取り入れた活動にならなかったのか。もっとEMS活動の基本に忠実になっていただきたい。</p>			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		2 循環型社会を形成します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
一人1日あたりごみ排出量 (家庭系の可燃・資源)		584g	
650g (平成28年度)	650g (令和9年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
リサイクル率	3	3	燃やせるごみに混入している資源物を資源化するなど、リサイクルを促進することでごみの排出を抑制すると考えます。
事業系ごみ排出量	3	3	家庭系ごみと共に事業系ごみについても減少させることで、市全体のごみ減少を促進することができると考えます。
市庁舎におけるごみ排出量	3	3	採用後間を置かず市庁舎のごみゼロについて研修を受けることで意識を高め、ごみの減量化に繋げた。
生ごみ処理機の普及率 (補助制度実績)	3	3	家庭系可燃ごみに含まれる生ごみの排出量を抑制する生ごみ処理機を復旧させることで、ごみの排出量を抑制すると考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>1. 一人1日あたりごみ排出量 令和2年度の一人1日あたりごみ排出量584gで、目標値を650gを既に達成されています。内部的に新たな目標を設定されては、いかがでしょうか。</p> <p>2. リサイクル率 リサイクル率向上に向けて、いろいろな施策を実施されていることは分かりました。難しい課題と思いますが、継続して施策を実施して下さい。</p> <p>3. 事業系ごみ排出量 市民のごみ処理の有料化を実施しましたが、事業系ごみ処理料の値上の検討はいかがでしょうか。訪問指導、パンフレット改訂では、限界があるのではと思います。</p>			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		3 緑・水・生きものと共生します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
生き物とのふれあいに対する意識(環境アンケート:地域の生き物とのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)		—(実施せず)	
48.2%(平成30年度)	50.0%(令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
自然緑地保全区域面積・樹木数	3	3	個別指標の目標には達していませんが、緑地や樹木の適正な維持管理に寄与出来ていると考えます。
緑化に関する情報の発信回数	2	2	コロナ禍による事業の休止により情報発信を行えなかった。
生物多様性に関する情報の発信回数	2	2	個別指標の目標は達成できていませんが、情報発信を通じて、生物の多様なあり方への関心の情勢に寄与できました。
外部評価			
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。 (コロナの影響は大であり計画に対して未達であった)		
判断理由及び評価内容			
自然緑地保全区域面積・樹木数において、目標値は未達であったものの、目的の緑地や樹木の適正な維持管理はできたと評価できます。全体的にはコロナ影響はあるものの、コロナ2年目に入り代替えの対策があってもよかったと思われまます。イベントにおいても、Web上でのイベントを開催するなどの代替え手段の検討が望まれます。特に、次世代をになう小中学生に対してはWebを使った参加型のイベントの開催をご検討ください。			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針		
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		1 水環境を守ります		
目標指標		令和2年度実績		
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))			
河川水質環境基準達成状況		問題なし		
問題なし (平成30年度)	問題なし (令和11年度)			
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
水洗化率	2	2	微量ながら増となっているため目標達成に寄与出来ていると考えます。	
公共下水道の普及率	4	4	目標値を大幅に達成できたため、寄与出来ていると考えます。	
水循環に関する情報の発信回数	3	3	水環境の情報発信を通じて、市民や事業者の河川水質の維持向上への関心を高められました。	
外部評価				
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 (個別の指標で上下があるが、水環境を守る施策の方針の維持が見られます。)			
判断理由及び評価内容				
<p>1. 「処理区域内に移動する場合」、公共下水道に接続するような指導・広報をまず行うべきです。指導・広報してもなお水洗便所化しなかったり、公共下水道に接続しない人口増があるならば、その原因・要因を分析し、それに対策する方法を検討する活動（EMS活動）が見えません。</p> <p>2. 「普及率」で、工事進捗が想定より良かったことの分析が不十分です。市民への丁寧な説明が行えなかったのに進捗見込みを上回る実績が上がったことの分析とそれによる今後の活動への取り込みは重要です。活動の分析が解明してこそ次の活動へ繋がるからです。</p> <p>3. 進捗率の使い方は勉強してください。</p>				

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		2 生活環境を守ります	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
公害・環境に関する相談件数		87件	
64件 (平成30年度)	50件 (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
大気環境基準達成状況	3	3	環境基準達成を維持することで目標指標の達成に寄与出来ていると考えます。
コミュニティバス利用者数	3	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値は下回りましたが、事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮に寄与したと考えます。
騒音に関する相談件数	3	3	コロナ禍の影響で相談件数は増えてきましたが、適切に対処することで、目標指標の達成に寄与出来たものと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>1. 大気環境基準達成状況 課題等で「これまで単発的に測定結果を管理、今後は継続的にデータ記入を行い、数値の継続的な管理を検討」とありますが、測定結果を継続的に管理することは必須事項です、即実施をして下さい。窒素酸化物は令和元年度の最大値35、令和2年度最大値43と環境基準値の60に近づいており要注意です。</p> <p>2. 「コミュニティバス利用者数」、「騒音に対する相談」については適切と思います。</p>			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		1 都市環境を整備します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
これからも海老名市に住みたいか (市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)		— (実施せず)	
90.3% (令和元年度)	90.3% (令和11年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
道路整備への満足度 (市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)	3	3	市政アンケートを行っていないため数値としての結果は出ていないが、狭小道路の拡幅や砂利道の舗装を行い、排気ガスや砂埃の抑制を図り、近隣住民の住環境の向上を図りました。
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	4	4	まちの美観向上等により住み続けたいまちづくりに寄与できると考えています。
えびなクリーン作戦参加者累計数	1	1	まちの美観と共に、地域コミュニティの確立も図られ、住み続けたいまちづくりに寄与できると考えています。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 (中止のクリーン作戦以外は概ね目標遂行できた)		
判断理由及び評価内容			
<p>達成に向けたプロセスの評価において、アンケートが実施されなかった場合、施策の変更をすべきだと考えます。実際、3-3-1aにおいては、当初予定していた整備工事は、予算内でおおむね実施することができ、狭小道路の拡幅、砂利道の舗装を行ったことで、渋滞の解消による排気ガスの抑制、粉塵・砂埃の抑制につながり、近隣住民の住環境の向上が図れた。とのことなので、途中で目標の修正を行うと良いと思います。また、R3年度もコロナ対応で様々な施策の中止があると思われるので、勇気をもって期中の修正を行ってください。</p>			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしき”を守り、育み、将来に引き継ぎます		2 農業地を守ります	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
農地面積		519ha	
526ha (平成30年度)	526ha (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
農作業受委託面積	3	3	農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の減少に寄与した。
市民農園利用者数	3	3	農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の減少に寄与した。
農業体験イベント参加者数	3	3	中止となったイベントはあったが、作物の定植・栽培管理は行っていたため、農地の荒廃の抑制に寄与した。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 (個別指標で目標実績に上下があるが農業地を守る施策の方針の目標が維持されています。)		
判断理由及び評価内容			
<p>1. 「農作業受委託面積」で、受委託面積の現状値を下回らないように取り組んでいる実施項目はなにか？それがどのように荒廃の抑制や放棄地の減少に役立ったのか？機械の破損や消耗、保守点検で修理費必要など沢山の実施項目があったはずでその中で何が重要で、何が貢献したのか、何が有効だったのか、を報告して欲しい。</p> <p>2. 「市民農園利用者数」で、大事なことは「変更点」に書かれている「HPの定期的見直し」「空き状況の更新頻度の増加」です。またもっと大事なことは「課題等」に書かれた「利用者が高齢者でHPでは限界がある」です。課題の改善策が今後重要です。</p> <p>3. 「農業体験イベント参加者数」で、コロナで中止になったことはやむを得ないが感染対策して実施できた事業が重要で、困難があっても何をどう工夫して実施することが出来たか具体策とその効果の報告が大事です。</p>			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		3 地域資源を守ります	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
自然景観への満足度 (環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)		— (実施せず)	
74.9% (平成30年度)	75.0% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	3	3	今後も魅力的な展示などを企画していくことで来館者数が増加していると考えています。
歴史関連イベント・講座参加者数	3	3	電子申込を使用することで、比較的若年者層でも参加しやすくなったと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>「郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数」「歴史関連イベント・講座参加者数」両方に関連しますが、来館者数、参加者数を増やすための施策として、文化財系のホームページ「文化財探究舎」の充実が必要と思います。例えば、ホームページには、現在開催中のイベント「史跡相模国分寺100周年記念展示」について公開されていますが、過去に開催したイベントについては公開されていません。過去開催のイベントについても興味ある情報です。イベント終了後も過去のイベントとして公開されることを、ご検討下さい。</p>			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
4 みんなでえびなの環境を考え、行動します		1 環境を考え、行動します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)		—(実施せず)	
43.5% (平成30年度)	48.0% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
環境関連情報発信回数	2	2	環境に関する情報発信を通じて、環境への関心度を高められました。
啓発・出前講座参加者数	2	2	市民等への出前講座の実施により、環境への関心度が高められました。
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	3	3	きれいなまちづくり事業を実施することで、まちをきれいすると共に、地域環境へも目を向ける機会に寄与したと考えています。
海老名市地域緑化事業への登録団体数	3	3	個別指標の目標には達していませんが、地域のみどりに目を向ける機会に寄与したと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 (アンケートが未実施のため施策に影響しているがその他は概ね計画通り)		
判断理由及び評価内容			
<p>全体的にはコロナ渦ではありますが、それぞれの項目で工夫を凝らして活動されていることを評価します。ただし、昨年同様、コロナ化における課活動中止が起因して、実施項目未達がおきていますが、R3年度の現状を考えた場合、影響は必須です。実際にリアルに活動ができなくても、Webを使った双方向コミュニケーションなどの活用を検討し、いままでと違うコミュニケーションの取り方を検討ください。また、補助金の交付においても、リアルに実施するものに交付するだけでなく、仕組づくり(啓蒙資料作成、Webの仕組づくりなど)にも交付できることを検討ください。</p>			